

2016年度「健康とくらしの調査」の実施について

■調査の概要

- 65歳以上の方（要介護1～5の方を除く）から無作為抽出し、アンケート調査を実施いたします。
- 高齢者の健康づくりや介護予防に役立つデータの収集を目的としています。

■アンケートについて

国立長寿医療研究センターと福岡市の連名で全市25,000人程度に発送

■アンケート期間

平成28年11月14日（月）～平成28年12月5日（月）

■追加調査

ふれあいサロンの活動状況調査を福岡市社会福祉協議会を通じて行う

健康とくらしの調査による調査分析結果

- 地域で役割ある高齢者は長生き（死亡率12%減）
- 入れ歯しない高齢者閉じこもりリスク約2倍
- 世話する人，話を聴く人抑うつ度が低い
- 笑わない人は脳卒中リスク1.6倍増
- ひとり暮らしの男性はひとりで食事をしていると2.7倍うつになりやすい
- 高齢者が交流を持つ「サロン」をまちに設置すると，要介護認定率が半減する可能性がある
- （自治会など）役割を担って社会参加している男性ではうつリスクは7分の1

地域との協働による移動支援モデル事業について

■事業の概要

運転や付き添いボランティアを募集し、買い物や通院等にお困りの高齢者等の外出等支援を無償で行う。

モデル事業の実施団体は、地域で活動する団体、NPO、ボランティアグループ、社会福祉法人などを想定。

■役割分担

(市社協)

- ・車両の確保，任意保険加入（損害，ボランティア），法定点検・補修
- ・実施団体の支援
- ・事業の検証

(実施団体)

- ・運転，付き添いなどボランティアの募集
- ・利用者，運行ルート，スケジュールを検討し，設定

■今後の予定

平成28年11月

公募・選定

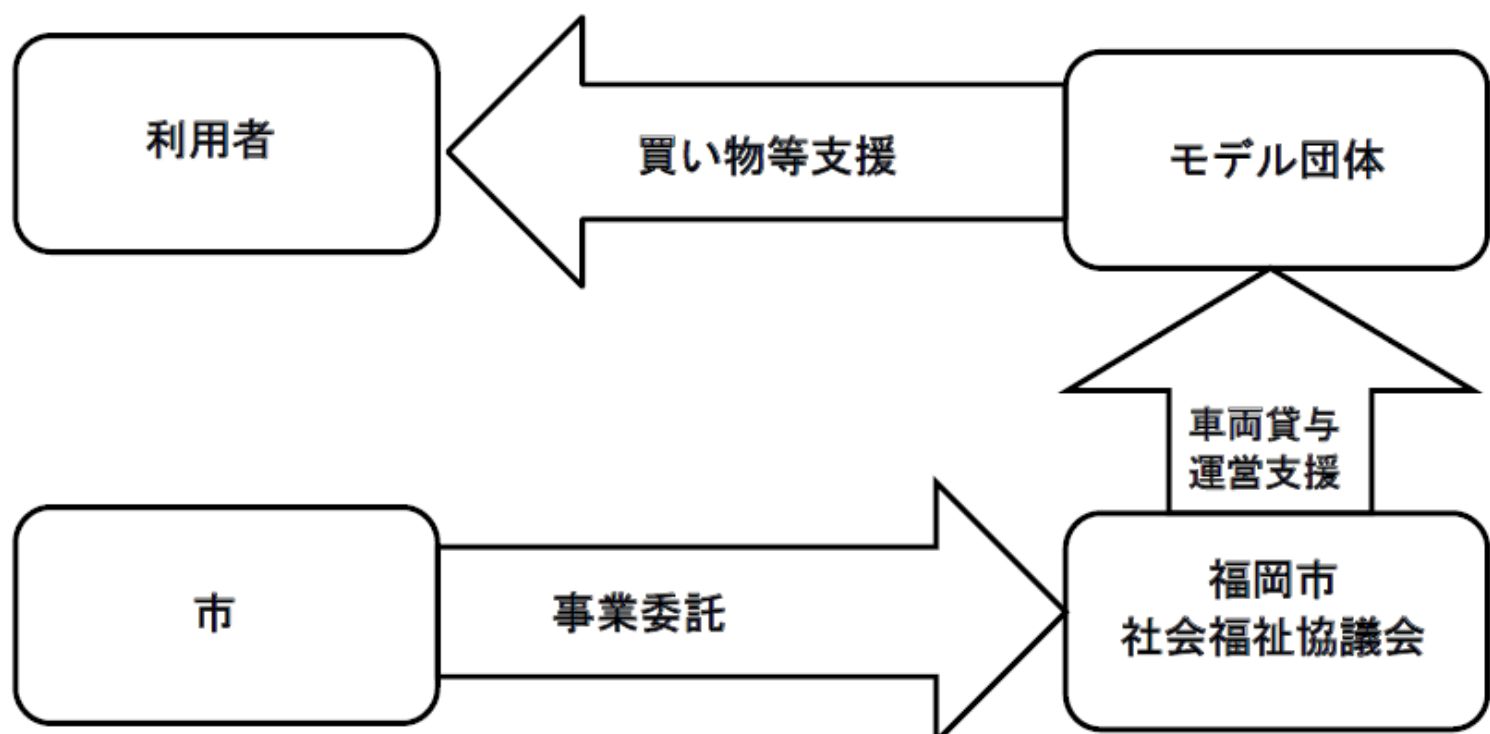
実施団体決定後

運行に向けた協議・準備

平成29年1月予定

車両運行開始

■事業の流れ



働く人の介護サポートセンターについて

- ◆ 介護のため離職した人は過去5年間で
44万人（うち**男性は約2割**）
→ 福岡市の離職者は **5,400人**
（H24 就業構造基本調査）
- ◆ 介護離職せず家族の**介護と仕事を
両立できると思う人は1割に満たない**
「オリックス・リビング株」
（介護に関する意識調査2015）
- ◆ **7割が** 親の介護が必要になった場合の
相談先を知らない
「ソニー生命調べ」
（ダブルケアに関する調査2015）

【国の動き】

一億総活躍社会の実現に向けて、
「新三本の矢」の「第三の矢」として、
「介護離職ゼロ」が打ち出される

仕事と介護の両立を支援するための環境
づくり、相談・支援体制の充実に取り組む



働く人が介護に直面した場合でも、離職せずに
両立して働き続けられるためのノウハウを知り、
不安を解消していただくことを目的として、

平成28年7月1日 「働く人の介護 サポートセンター」開設

場所 : 福岡市役所本庁舎地下1階
開設時間 : 月・水・金曜日12時～20時
日曜日 10時～18時

ケアマネジャー2名を配置し、働く人が仕事と介護
を両立できるよう、相談対応や情報提供等を行う

働く人の
介護サポートセンター

